

3年国語 評価の内容

<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読できること。 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにできること。 ・辞書の使い方を理解し使うこと。 ・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使えること。 ・第3学年までに配当されている漢字を読めること。 ・第3学年までに配当されている漢字を文や文章の中で使うこと。 ・段落の役割について理解できること。 ・全体と中心など情報と情報との関係について理解できること。 ・改行のしかたを理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。 ・毛筆で書くときのおれ、はね、はらい、点、かな等の書き方を理解できること。 ・ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。 ・説明的な文章を読むことでは、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。 ・文学的な文章で、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。 ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。 ・目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合うこと。 ・話の中心や話す場面を意識して、言語の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。 ・相手や目的を意識して書くことを選び、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えて書くこと。 ・毛筆で『日』『小』書き初め『お正月』を書写するなかで、おれ、はね、はらい、点、かな等の書き方を確かめて書くこと。
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に文章全体の構成や内容の大体を意識しながら、学習課題に沿って、粘り強く継続的に楽しんで音読すること。 ・学習課題に沿って、すすんで辞書の使い方を理解し、粘り強く継続的に使おうとすること。 ・今までの学習をいかして、粘り強く継続的によりよく漢字を学ぼうとしていること。 ・段落相互の関係に着目しながら内容を捉え、学習課題に沿って、読んで考えたことをすすんで文章にまとめようとする事。 ・相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にし文章の構成を考え、学習課題に沿って、丁寧な言葉を使うなど、積極的に書く工夫をして、文章を書こうとすること。 ・登場人物の気持ちの変化について、すすんで場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って、物語を読んだ感想をまとめようとする事。 ・毛筆用具の準備の仕方と片付け方、正しい姿勢を理解し、学習の見通しをもって適切に取り組もうとすること。

3年社会 評価の内容

<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関は、地域の人々と協力して火災の防止に努めていることや、関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制をとっていることを理解すること。 ・人々の安全を守るための関係機関の働きと、そこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を理解すること。 ・観点に基づいて見学・聞き取り調査をしたり、資料を活用したりして、地域社会における災害及び事故の防止のための諸活動の様子について必要な情報を集め、読み取ること。 ・調べたことをノートや作品などにまとめること。 ・関係機関は地域の人々と協力して、事故や事件の防止に努めているとともに、関係の諸機関は相互に連携して、緊急に対処する体制をとっていることを理解すること。 ・人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を理解すること。 ・警察署などの施設や設備などを観点に基づいて見学・聞き取り調査したり、資料を活用したりして、地域社会における事故や事件の防止のための諸活動の様子について必要な情報を集め、読み取ること。 ・調べたことをノートや作品などにまとめていること。 ・市や人々の生活の様子は、時間の経過を伴い、移り変わってきたことを理解すること。 ・今と昔の写真や地図などの資料を基に調べ、ノートや作品などにまとめていること。
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会における火災から人々の安全を守る工夫や努力について、学習問題や予想、学習計画を考え、表現すること。 ・安全を守るための関係機関の働きや地域の人々の工夫や努力を地域の人々の生活と関連付けて考え、適切に表現すること。 ・地域社会における事故や事件から人々の安全を守る工夫や努力について、学習問題や予想、学習計画を考え表現すること。 ・安全を守るための関係機関の働きや地域の人々の工夫や努力を地域の人々の生活に関連付けて考え適切に表現すること。 ・交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いを基に、市や人々の生活の様子の変化について、文章で記述したり発表したり話し合ったりしていること。 ・市の少子化や高齢化、国際化についての課題を把握し、市の将来について考え、発表したり、話し合ったりすること。
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会における火災から人々の安全を守る工夫や努力に関心を持ち、意欲的に調べること。 ・地域社会の一員として人々の安全を守るための活動に協力しようとする事。 ・地域社会における事故や事件から人々の安全を守る工夫や努力に関心を持ち、意欲的に調べる事。 ・地域社会の一員として人々の安全を守るための活動に協力しようとする事。 ・市の様子の移り変わりについて関心を持ち、問題解決の見通しをもって、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの観点から、主体的に学習問題を追及・解決しようとする事。 ・市の特色やこれからの市の発展に関心を持ち、市の将来の姿についてすすんで話し合い、考えようとしている事。

3年算数 評価の内容

<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重さについて単位や単位の関係を理解し、およその見当をつけ、適切な計器を選んで測定することができる。 ・分数の意味や分数を用いた大きさの表し方を理解し、分数のたし算やひき算の計算ができること。 ・数量の関係を表す式に未知の数量を表す□を用いることを理解し、式の意味を読み取って場面を考え、□にあてはまる数の調べ方が分かること。 ・2～3けた×1けたのかけ算の筆算の仕方を利用して、2～3けた×2けたのかけ算を筆算で計算できること。 ・数量関係や倍の意味を理解し、問題場面に応じてテープ図や□を使った式を用いながら、答えを求めることができること。 ・二等辺三角形や正三角形の辺の特徴や角の大きさを知り、それぞれの図形の意味や性質、作図の仕方を理解できること。 ・表や棒グラフから項目間の関係や集団のもつ全体的な特徴を読み取ることができること。
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りもものの重さやその単位に着目し、量感覚を身に付け、単位関係を長さや体積の学習と合わせて考えながら説明していること。 ・分数での数の大きさを図に表したり、計算したりする方法を考え、説明していること。 ・式と図を関連付けて読み取ることを通して、未知の数量を表す□を用いた式について考え、説明していること。 ・既習の2～3けた×1けたのかけ算の筆算の仕方に着目し、2～3けた×2けたの筆算での仕方について考え、説明していること。 ・問題場面や数量の関係に着目し、倍の意味や計算方法について考え、説明していること。 ・二等辺三角形や正三角形の性質を考えるとともに、作図の仕方について考え、説明していること。 ・身の回りの事象について表や棒グラフを用いて考察したり、分かりやすく表したりする方法について考え、説明していること。
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのものの重さやそれらを数値化することの良さや単位の必要性に気づき、今後の生活や学習に活用しようとしていること。 ・分数を用いることで、整数で表せない部分の大きさを表せることの良さに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしていること。 ・未知の数量を□を用いて表すことで、場면을式や図に表せることの良さに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしていること。 ・2～3けた×2けたの筆算について、粘り強く取り組み、数が大きくなってもこれまでと同じ筆算でできるよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしていること。 ・2つの数量関係をテープ図や□を使った式などで考えることの良さに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしていること。 ・図形の辺の長さや角の大きさなどに着目し、図形の敷き詰めなどの活動による模様的美しさや平面の広がりやに気付くとともに、二等辺三角形や正三角形などの作図に粘り強く取り組もうとしていること。 ・データを分類整理し、分かりやすく表すことの処理のよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしていること。

3年理科 評価の内容

<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの問題について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録できること。 ・地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさや湿り気に違いがあることや、物に日光を当てると明るさや暖かさが変わることを理解できること。 ・日光は直進し、集めたり反射させたりできることを理解できること。 ・物から音が出たり伝わったりするとき、物は震えていること、また、音の大きさが変わるとき物の震え方が変わることを理解できること。 ・物は、形が変わっても重さは変わらないことや、体積が同じでも重さは違うことがあることを理解できること。 ・電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があり、電気を通す物と通さない物があることを理解できること。 ・磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があること、磁石に近づけると磁石になる物があること、磁石の異極は引き合い、同極は退け合うこと、また、磁石に近づけると磁石になる物があることを理解できること。
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日なたと日陰の地面の様子や光の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見出し、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決できること。 ・音の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見出し、表現するなどして問題解決できること。 ・物の形や体積と重さについて、差異点や共通点を基に、問題を見出し、表現するなどして問題解決できること。 ・電気の回路について、差異点や共通点を基に、問題を見出し、表現するなどして問題解決できること。 ・磁石の性質についての事物・現象にすすんで関わり、他者と関わりながら問題解決できること。
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『日なたと日陰の地面の様子や光の性質』『音の性質』『物の形や体積と重さ』『電気の回路』『磁石の性質』についての事物・現象にすすんで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとする。また、学んだことを学習や生活に生かそうとすること。 ・ものづくりにすすんで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしているとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとすること。

3年音楽 評価の内容

<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『ユモレスク』や『白鳥』、『ピーターとおおかみ』などの鑑賞曲の雰囲気を感じ取りながら、曲の変化を感じ取りながら、旋律との関わりについて気付けること。 ・『雪のおどり』や『陽気なかじや』などの曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付けること。 ・リコーダーや木琴、鉄琴などの楽器を、音色や響きに気を付けて、演奏できること。 ・リコーダーや木琴、鉄琴などの楽器を、お互いの楽器の音や伴奏を聴きながら、音を合わせて演奏できること。 ・リコーダーの演奏で、正しい指使いを身に付け、音色や響きに気を付けて演奏すること。 ・発想を生かした表現や、思いや意図に合った表現をするために必要な技能を身に付けること。
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『ユモレスク』や『白鳥』、『ピーターとおおかみ』などの鑑賞曲の知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くこと。 ・リコーダーや木琴、鉄琴などの楽器の演奏で、知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつこと。 ・『ピーターとおおかみ』『組曲「アルルの女」』などの鑑賞曲で、楽器の旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見い出して聴くこと。
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・合奏などの器楽活動を通してすすんで音楽に関わり、共に学びながら音楽活動をする楽しさを感じる。 ・鑑賞活動を通してすすんで音楽に関わり、共に学びながら音楽活動をする楽しさを感じる。 ・歌唱活動を通してすすんで音楽に関わり、共に学びながら音楽活動をする楽しさを感じる。 ・様々な音楽に親しむとともに、授業での経験を生かして生活を明るく豊かなものにしようとする。 ・リズム遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。

3年図工 評価の内容

<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表したいことに合わせて材料（画用紙、粘土、木材、プラスチック素材など）や用具（絵の具、クレヨン・クレパス、ペン、カッター、げんとう、木工用接着剤など）を適切に扱うことができること。 ・前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫してつくることができること。 ・絵や立体に表す活動を通して、形や色、組み合わせの印象を捉えることができること。 ・活動を通して、材料に関わりながら、材料を組み合わせたり切ったりつないだり、形をかえたりするなどして、工夫してつくることができること。
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことなどの自分のイメージを基に、表したいことを見付けること。 ・絵や立体、工作に表す活動を通して、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながらどのように表すか考えること。 ・自分たちの作品や、身近な美術作品などの面白さやいろいろな表し方について、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組むこと。 ・つくりだす喜びを味わい、すすんで水彩絵の具と水と筆を使って試しながら、思い付いたことを表す学習活動に取り組もうとしていること。 ・つくりだす喜びを味わい、すすんでげんとうを使って、思い付いたものを表す学習活動に取り組もうとしていること。 ・つくりだす喜びを味わい、すすんで楽しく想像し、プラスチックの材料を使って生き物に表す学習活動に取り組もうとしていること。

3年体育 評価の内容

<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・持久走では、自分で設定したペースでフォームを意識しながら自分に合ったペースで走ることができること。 ・3タッチサッカーでは、ルールを理解し、ボール操作やボールを持たないときの動きによって、易しいゲームができること。 ・跳び箱では、助走から両足での踏み切り、足を左右に開いて着手し、飛び越えて着地することができること。また、助走から両足で踏み切り、腰の位置を高く保って着手し、前方に回転して着地することができること。 ・高跳びでは片足で踏み切り、足から着地することについて理解し、その動きができること。また、助走のリズムについて理解し、その動きができること。
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・持久走では体力や、技能の程度、性別等の違いを超えて仲間とともに陸上競技を楽しむための調整の仕方を身に付けていること。 ・3タッチサッカーでは、友達と関わりながら、ルールを工夫したり、守備のポジションやパスの仕方などの簡単な作戦を立てたりすること。 ・跳び箱運動では、自分の能力に適した課題をもち、技ができるようにするための活動を工夫すること。 ・高跳びでは、自分の能力に適した課題を見つけ、自分の記録を伸ばすようにするための活動を工夫すること。 ・友達のよいポイントなど、課題の解決のために見付けたり、気付いたりしたことを動作や言葉などで友達に伝えること。 ・健康な生活について課題を見つけ、その解決に向けて、考え、それを表現すること。
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の違いに応じた課題や、挑戦を大切にしようとしていること。 ・それぞれの運動のよさに気付き、粘り強く取り組むこと。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合って運動すること。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にすること。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりして運動すること。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりすること。 ・勝敗を受け入れていること。 ・ゲームの反省点、改善点を、チームでの話合いと練習を通して、次のゲームに生かそうとしていること。